

平成 27 年 1 月期 中間決算短信（平成 26 年 1 月 18 日～平成 26 年 7 月 17 日）

平成 26 年 8 月 8 日

ファンド名 国内金先物価格連動型上場投信 上場取引所 東証
 コード番号 1683
 連動対象指標 株式会社東京商品取引所の商品市場における金現物先物取引の期先限月の清算値
 主要投資資産 国債証券および連動対象指標に関連する商品投資等取引に係る権利
 売買単位 10 口
 管理会社 みずほ投信投資顧問株式会社 URL <http://www.mizuho-am.co.jp/>
 代表者名 代表取締役社長 中村 英剛
 問合せ先責任者 プロセス管理部長 荻島 伸和 TEL (03)5232-7607

半期報告書提出予定日 平成 26 年 10 月 17 日

I ファンドの運用状況

1. 平成 26 年 7 月中間期の運用状況（平成 26 年 1 月 18 日～平成 26 年 7 月 17 日）

(1) 資産内訳 (百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計(純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成 26 年 7 月中間期	39	(69.6)	17	(30.4)	57	(100.0)
平成 26 年 1 月期	89	(66.2)	45	(33.8)	135	(100.0)

(2) 設定・解約実績

	前計算期間末 発行済口数 (①)	設定口数(②)	解約口数(③)	当中間計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
平成 26 年 7 月中間期	34	30	50	14

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債(②)	純資産 (③(①-②))	1 口当たり基準価額 (③/当中間計算期間末発行済口数) ×1)
	百万円	百万円	百万円	円
平成 26 年 7 月中間期	77	20	57	4,032
平成 26 年 1 月期	176	40	135	3,969

2. 会計方針の変更

- ①会計基準等の改正に伴う変更 無
 ②①以外の変更 無

II 中間財務諸表

(1) 【中間貸借対照表】

(単位：円)

区 分	第 4 期計算期間 (平成 26 年 1 月 17 日現在)	第 5 期中間計算期間 (平成 26 年 7 月 17 日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	10,369,998	8,018,686
国債証券	89,992,590	39,998,216
派生商品評価勘定	2,796,000	—
未収入金	39,999,280	19,999,720
未収利息	14	514
前払金	28,783,890	8,992,219
差入委託証拠金	4,356,000	972,000
流動資産合計	176,297,772	77,981,355
資産合計	176,297,772	77,981,355
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	—	324,000
未払金	39,995,400	19,999,200
未払受託者報酬	36,083	18,054
未払委託者報酬	288,598	144,364
その他未払費用	7,601	5,773
流動負債合計	40,327,682	20,491,391
負債合計	40,327,682	20,491,391
純資産の部		
元本等		
元本	106,617,120	44,377,120
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金(△)	29,352,970	13,112,844
元本等合計	135,970,090	57,489,964
純資産合計	135,970,090	57,489,964
負債純資産合計	176,297,772	77,981,355

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

区 分	第 4 期中間計算期間 (自 平成 25 年 1 月 18 日 至 平成 25 年 7 月 17 日)	第 5 期中間計算期間 (自 平成 26 年 1 月 18 日 至 平成 26 年 7 月 17 日)
営業収益		
受取利息	46,134	13,922
有価証券売買等損益	△1,381	△832
派生商品取引等損益	△22,622,524	△2,283,935
その他収益	—	17
営業収益合計	△22,577,771	△2,270,828
営業費用		
受託者報酬	39,455	18,054
委託者報酬	315,625	144,364
その他費用	8,968	6,880
営業費用合計	364,048	169,298
営業利益又は営業損失 (△)	△22,941,819	△2,440,126
経常利益又は経常損失 (△)	△22,941,819	△2,440,126
中間純利益又は中間純損失 (△)	△22,941,819	△2,440,126
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は 一部解約に伴う中間純損失金額の分配額 (△)	—	—
期首剰余金又は期首欠損金 (△)	50,924,317	29,352,970
剰余金増加額又は欠損金減少額	—	25,200,000
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損 金減少額	—	—
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損 金減少額	—	25,200,000
剰余金減少額又は欠損金増加額	—	39,000,000
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損 金増加額	—	39,000,000
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損 金増加額	—	—
分配金	—	—
中間剰余金又は中間欠損金 (△)	27,982,498	13,112,844

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	第 5 期中間計算期間 (自 平成 26 年 1 月 18 日 至 平成 26 年 7 月 17 日)
1 有価証券の評価基準及び 評価方法	国債証券 原則として時価で評価しております。
2 派生商品等の評価基準及 び評価方法	先物取引 原則として時価で評価しております。
3 収益・費用の計上基準	有価証券売買等損益及び派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。

(中間貸借対照表に関する注記)

項 目	期別	第 4 期計算期間 (平成 26 年 1 月 17 日現在)	第 5 期中間計算期間 (平成 26 年 7 月 17 日現在)
1 中間計算期間末日の受益権総口数		34,260 口	14,260 口
2 中間期末 1 口当たりの純資産の額		3,969 円	4,032 円

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価に関する事項

項目	第4期計算期間 (平成26年1月17日現在)	第5期中間計算期間 (平成26年7月17日現在)
1 貸借対照表日における貸借対照表の科目ごとの計上額・時価・時価との差額	貸借対照表に計上している金融商品は、原則として時価評価としているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2 貸借対照表の科目ごとの時価の算定方法	<p>(1) 有価証券</p> <p>国債証券 ①わが国の金融商品取引所または海外取引所に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会が発表する売買参考統計値（平均値）（外貨建証券を除く）、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（売気配相場を除く）または価格情報会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>②時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できない場合または入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引</p> <p>先物取引</p> <p>デリバティブ取引に関する注記に記載しております。</p> <p>(3) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務</p> <p>コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。</p>	<p>(1) 有価証券</p> <p>国債証券 同左</p> <p>(2) デリバティブ取引</p> <p>先物取引 同左</p> <p>(3) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 同左</p>
3 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には、合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 また、デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。	同左

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

（商品関連）

第4期計算期間（自平成25年1月18日 至平成26年1月17日）

種 類	第4期計算期間（平成26年1月17日 現在）			
	契 約 額 等（円）		時 価 （円）	評 価 損 益 （円）
		うち1年超		
市場取引 TOCOM標準取引 買建				
金標準取引 201412	135,078,000	—	137,874,000	2,796,000
小 計	135,078,000	—	137,874,000	2,796,000
合 計	135,078,000	—	137,874,000	2,796,000

第5期中間計算期間（自平成26年1月18日 至平成26年7月17日）

種 類	第5期中間計算期間（平成26年7月17日 現在）			
	契 約 額 等（円）		時 価 （円）	評 価 損 益 （円）
		うち1年超		
市場取引 TOCOM標準取引 買建				
金ミニ取引 201506	2,144,500	—	2,132,500	△12,000
金標準取引 201506	55,757,000	—	55,445,000	△312,000
小 計	57,901,500	—	57,577,500	△324,000
合 計	57,901,500	—	57,577,500	△324,000

（注）時価の算定方法

TOCOM標準取引の時価の算定方法については、取引所の発表する計算日の帳入値段（清算値）により評価しております。

（その他の注記）

項 目	期別	第4期計算期間	第5期中間計算期間
		（平成26年1月17日現在）	（平成26年7月17日現在）
1 期首元本額		106,617,120 円	106,617,120 円
期中追加設定元本額		— 円	93,360,000 円
期中一部解約元本額		— 円	155,600,000 円